

## 一歩一歩 前進

**錦華公園の改修**  
12月16日「ワークショップ型で公園改修」始まる。  
地域をよく知る住民の意見を聞いてから公園改修の設計に着手することになりました。



**ヒートアイランド、数値の見える化**  
「千代田区の都市化がこのまま進めば、猛暑日が100年で40日(7年)増える」という気象台からの衝撃レポートがあります。さまざまなリスクの前に、私たちは何をすべきでしょうか。まずは共通の認識をベースに話し合うことだとわたしは考えます。  
「千代田区における過去からの気候変動のデータを、来年度早い時期に公表する。」と行政の答弁。

**樹冠を広げる街路樹の剪定へ**  
平成30年度より東京五輪おもてなしの一環として、美しい樹形整備に転換。「今後は、樹木の専門家の意見を聞きながら、維持管理のあり方、適切な剪定を引き続き行おう。」と行政の答弁。

**災害時ゴミ置き場問題**  
台風19号被災地(千葉県南房総市、茨城県大子町)に清掃職員を派遣し継続的な支援を行なっている。大きな課題と認識している。職員の報告からも災害ゴミの処理が大きな課題と認識、これら経験を参考に対策を具体化する。」と行政の答弁。

**人口増による学校不足問題**  
11月29日の一般質問3人全員がこの問題を取り上げた。私の質問には答えなかったが、その後の自民党の方の質問に答えて、「麹町小学校においては、手段を限定することなく全庁的な協力を求め、早急に検討を進め、対応して参ります。」と答弁。やっと動かし・・・。

ほか、「公文書管理のあり方」「文化財の適切な管理」「人口増に伴う遊樂所の不足問題」など2019年取り組んだ課題について、改善の方向性が見えてきました。



6月19日一般質問写真

## 区民の声 コラム 木を育てられない人は人を育てることはできない

木を育てられない人は人を育てることはできない  
という有名な言葉があります。  
警察通りを整備して歩道の外側に自転車道を作ることと異議はありません。路上のパーキングも当然廃止されるべきものと考えます。区有地に立体駐車場を作る方が良いでしょう。  
でもなぜプラタナスの木を切ってしまうのですか。70有余年、日差しから守ってくれた木です。手入れして歩道の中に入れて欲しいと思います。葉が落ちるのは当然で、砂埃りではないのです。自然に触れる気持ちで、「ありがとう」の気持ちで掃除したいです。綺麗な形にしてあげたいです。人間の優しさです。  
私も年を取りました。あまり人のお役に立てません。お荷物だったら私も切ってください。  
もう一つ、街路灯を木のそばに立てないで下さい。木と木の間にしましょう。熱て気が痛みます。プラタナスを切ってしまうのは絶対反対です。木にやさしい人は人にもやさしい人でしょう。

神田 平山みどり

## まちの声 耳をすませば

- ① 警察通りの自転車道整備は中央通りで止まり、その先の平成通りにつながっていません。区別する意味はあるのでしょうか。一八通りの無電柱化も中央通りまで。整備するのなら、その先までつなげていくべきです。
- ② 神田警察通りは、戦後しばらく車道は現在の一方通行でなく相互通行だったそうです。車の交通量が減少し新しい神田警察署もオープンするのですから「相互通行に戻せば」との声も聞かれます。
- ③ 錦華公園のようにワークショップで声を拾って欲しい。

**【編集後記】**  
◆政治の世界で30年、自分の力不足を糧に上げて言わせていただければ、東京集中問題や都市計画に精通した政党も政治家も日本に一人もいないように感じています。  
♥12月16日都庁で、千代田区に生まれ育つ女性たちの公述を聞き、まちを大切に思う「心の叫び」に胸が震えました。「このままじゃいけない」と思っている区民市民はたくさんいるのですが、政治がそれを代弁できていない、そのギャップをどうするのか、2020年はここを解消する年になるのではないかと・・・期待しています。

# ちよだの声

【ちよだの声区政報告・活動報告】  
千代田区議会議員 小枝すみ子  
P2 「四番町公共施設」と「日テレ沿道まちづくり」をめぐる経過  
P3 30年ぶりに新たな「公道型」始まる、傍聴記  
p4 一歩一歩前進、区民の声

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階 ちよだの声 TEL.03-3264-2111 (代表) FAX.03-3237-9805  
sumikokoeda@gmail.com 携帯.090-5506-1516 〒101-0051千代田区神田神保町1-16SKL/401号  
※この議会報告は公選法に基づき、有権者名簿を閲覧して送らせていただきました。ご不審の方はお手数ですがお知らせください。

## 2020年の幕明けに 善意のパワーを足し算へ!


**ムダな公共事業に時間とお金を使っている暇はない**  
1990年代、急激な人口減少による学校統廃合=公共施設適正配置構想(コウテキハイ)で地域を二分した千代田区ですが、そのころ小学生だった子どもたちが大人になって、30年後のいま、急激な人口急増でその子どもたちの赤ちゃんが今度は待機児童になっています  
1期目の時、先輩議員や地域住民と相談して、設計図も出来上がっていた小川小跡地総合文化施設計画(100億円相当)の不正をばき、頓挫させました。今はイベントやスポーツ広場として親しまれています。状況に応じて適切な判断をすることが未来のためになるという良い例です。四番町公共施設はどうでしょうか。  
公共事業や個別の開発でコミュニティを分断させるのではなく、皇居を擁し個性的地域を有する千代田の文化

を守るための税制・都市計画を確立するために、一致団結すべきと思います。

**「災害」と「環境」を最優先に**  
16歳の環境活動家グレタさん(スウェーデンの高校生)が、気候変動、温暖化の危機を叫び、世界の子どもたちに大きな影響を与えています。たて続けに災害豪雨を経験した私達は、危機感をリアルに感じています。この図は平成22年版真夏の千代田区熱分布図です。むきだしのコンクリートが高熱を放出していることがよくわかる写真です。  
いのちの視点から、すべてを再検証する2020年にしていきたいと思っています。

**屋上菜園に学ぶ**

三井住友海上火災(暖河台)、アーツ3331(旧橋成中)などさまざまな場所で屋上菜園の取り組みが進んでいます。特養ホームや子ども施設など、都会の私たちに可能な有機栽培のすそ野を広げて行きたいものです。



モリシカ  
カブと大根  
キンカン

★千代田区のみどり熱分布(平成22年度)概要版よりP5  
青色は30℃以下、赤は45℃以上  
樹が多いところほどcoolであることがわかります。

**千代田区 まめ知識**  
■千代田区人口12/1現在:6万5879人(昨年比+2425人)、3万7154世帯(1480人)  
有権者数:5万2835人 ■特選特権者:約130名 保育所待機児:約180名  
出生数:約700人 ■区の花:桜 区の鳥:白鳥 区の木:松 ■年間財政規模約600億円 基金残高約1150億円

いま、千代田区におきている事の一部をお知らせします。

# 「不透明な転換点」平成26~27年 150億円にも及ぶ公共施設に、近隣住民意向調査一切なし

年次	①「平河町仮住宅計画」の経緯	②「四番町公共施設計画」の経緯	③「日テレ1通り沿道まちづくり」の経緯
2009年(H21)	■平河町仮住宅一棟工 ■9月 廻り保健所廃止	■A1棟 四番町図書館・児童館及び住宅16戸(1980年竣工) ■B1棟 四番町図書館増築20戸、アパート(38戸)(1985年竣工)	■「日テレ1通り沿道まちづくり」の経緯
2010年(H22)	■3月 「公営住宅専長寿命化計画」策定 ■四番町アパートは長寿命化工事実行は44年使用可能と判定	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■10月 二番町における日テレ新スタジオ棟の高さ等について、隣接学校法人から区長へ「子どもたちの安全と教育環境を守ることを第一に、対処していただくことを切にお願いします」との要望書が提出される
2011年(H23)	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■10月 早期周知条例に基づく説明会(いきいきプラザ第一番町B1にて100人を超える参加) ■5月 駅前争奪地上各例上の説明会 ■5-6月 新スタジオ棟に関する区議会陳状相次ぐ ■7月 区議会議事録で日テレ社長宛要望書	■11月 早期周知条例に基づく説明会(いきいきプラザ第一番町B1にて100人を超える参加) ■5月 駅前争奪地上各例上の説明会 ■5-6月 新スタジオ棟に関する区議会陳状相次ぐ ■7月 区議会議事録で日テレ社長宛要望書
2012年(H24)	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■8月 庁内調整会議(区長含む)にて二棟一括建て替えに転換 ■8月 使用期間延長願い(まちづくり部長→日テレ担当者) ■9月 延長(35年3月まで)承諾(日テレ担当者→まちづくり部長) ■11月 一括建て替えの決定	■12月 日テレ1通りまちづくり委員会準備会発足 ■5月 使用買収契約締結(平成28年11月~35年3月(千代田区長と日テレ社長)) ※640万円/月/相当の土地で7ヶ月無償貸与(平成28年10月 決算委員会での問題となる)
2013年(H25)	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■8月 庁内調整会議(区長含む)にて二棟一括建て替えに転換 ■8月 使用期間延長願い(まちづくり部長→日テレ担当者) ■9月 延長(35年3月まで)承諾(日テレ担当者→まちづくり部長) ■11月 一括建て替えの決定	■5月 日テレ1通りまちづくり方針案、意見交換会
2014年(H26)	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■8月 庁内調整会議(区長含む)にて二棟一括建て替えに転換 ■8月 使用期間延長願い(まちづくり部長→日テレ担当者) ■9月 延長(35年3月まで)承諾(日テレ担当者→まちづくり部長) ■11月 一括建て替えの決定	■12月 日テレ1通りまちづくり委員会準備会発足 ■5月 使用買収契約締結(平成28年11月~35年3月(千代田区長と日テレ社長)) ※640万円/月/相当の土地で7ヶ月無償貸与(平成28年10月 決算委員会での問題となる)
2015年(H27)	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■8月 庁内調整会議(区長含む)にて二棟一括建て替えに転換 ■8月 使用期間延長願い(まちづくり部長→日テレ担当者) ■9月 延長(35年3月まで)承諾(日テレ担当者→まちづくり部長) ■11月 一括建て替えの決定	■5月 日テレ1通りまちづくり方針案、意見交換会
2016年(H28)	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■8月 庁内調整会議(区長含む)にて二棟一括建て替えに転換 ■8月 使用期間延長願い(まちづくり部長→日テレ担当者) ■9月 延長(35年3月まで)承諾(日テレ担当者→まちづくり部長) ■11月 一括建て替えの決定	■12月 日テレ1通りまちづくり委員会準備会発足 ■5月 使用買収契約締結(平成28年11月~35年3月(千代田区長と日テレ社長)) ※640万円/月/相当の土地で7ヶ月無償貸与(平成28年10月 決算委員会での問題となる)
2017年(H29)	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■8月 庁内調整会議(区長含む)にて二棟一括建て替えに転換 ■8月 使用期間延長願い(まちづくり部長→日テレ担当者) ■9月 延長(35年3月まで)承諾(日テレ担当者→まちづくり部長) ■11月 一括建て替えの決定	■5月 日テレ1通りまちづくり方針案、意見交換会
2018年(H30)	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■8月 庁内調整会議(区長含む)にて二棟一括建て替えに転換 ■8月 使用期間延長願い(まちづくり部長→日テレ担当者) ■9月 延長(35年3月まで)承諾(日テレ担当者→まちづくり部長) ■11月 一括建て替えの決定	■12月 日テレ1通りまちづくり委員会準備会発足 ■5月 使用買収契約締結(平成28年11月~35年3月(千代田区長と日テレ社長)) ※640万円/月/相当の土地で7ヶ月無償貸与(平成28年10月 決算委員会での問題となる)
2019年(H31)	■11月 四番町保育園児童館・仮図書館増築打ち合わせ(子ども部、まちづくり部・日テレ担当者) 12月 内訳(平成31年度まで)	■8月 庁内調整会議(区長含む)にて二棟一括建て替えに転換 ■8月 使用期間延長願い(まちづくり部長→日テレ担当者) ■9月 延長(35年3月まで)承諾(日テレ担当者→まちづくり部長) ■11月 一括建て替えの決定	■5月 日テレ1通りまちづくり方針案、意見交換会

ここからもっとも重要  
行政の記録、議事録  
一切なし!!

# 注目 30年ぶりの公道配へ、さまざまな教訓、課題認識

「公共施設のあり方」について令和2年度検討  
区有71施設、未利用区有地13ヶ所(小川小跡、永田小跡など)について、[区有地活用等検討会(副区長、教育長、各部長)において、中長期的な観点から区有施設の利活用の総合調整を行うほか、オール千代田の視点から今後の公共施設整備について府県との検討を行う。

課題①待ったなしの学校不足問題②学校・公園など隣接の土地の取得等の検討③築後30年目に行ういきいきプラザ第一番町などの公共施設の長寿命化工事のための仮移転場所の確保④プライベートスペースとパブリックスペースの複合化については今後、慎重に行う必要があるとの認識、児童相談所の場所なども結論を見いだす必要がある。

「区立外神田住宅(築48年)の区分所有部分等の取得について、全員一致可決。首都圏不動産建設公団に業務委託、総額11億2170万円。」

※1980年代~90年代パブリックに建てられた公共施設は、そのほとんどが複合施設で、容積いっぱい建ててきたが、30年が過ぎて、複合施設や権利者が複雑な公共施設の長期修繕もしくは建てかえ計画が、困難を極めています。前車の覆えるを見て、後車の戒めとす」というわけで、将来の人々の負担にならないよう判断することになりました。今後の動きにご注目。

## 議会傍聴記

●12月3日、決算特別委員会を傍聴しました。議点は3つ。  
●一つ目は、石川区長が勤務時間中に、非常勤職員へ「為書」を頼んだという問題でした。政治活動として傍聴することは公私混同・不適切ではないかと議員からの質問でした。しかも、使用した半紙等は区長の備品だったとのこと。傍聴するまでは、小さな問題と捉えていましたが、こういうことから区に疑みが出て、大きな問題につながるがわからないという指摘はもっともだと感じました。区長からは「反省している。今後は気を付ける。」といったコメントがありました。  
●二つ目は、日本テレビの所有地(四番町5-8)の借用経緯についてです。平成26年8月頃より、区は、当時建設予定だった四番町保育園の仮園舎用として、当該所有地を貸し出しといたし交渉を始めたそうです。その時の日テレ側の交渉手が、社長秘書で土地活用に関与してはいたが、地主議員からの質問で「日テレの再開発」という関係性があるというニュアンスを受け取りましたが、区は「交渉相手は確かに土地活用の責任者であったが、当時はその事実を知らなかった。」「詳細な公文書が残っていない」と回答するとどまりました。また、今後は行政の重要な事業については公文書を残していくとのことでした。  
●三つ目は、四番町図書館の建て替えに併し、来年1月より移転が予定されている仮図書館用ビル(仮称)の決定経緯についてでした。小枝議員からは、もう一つの候補先よりも築年数が古く旧耐震であるビルがなぜ選ばれたのか、選定基準に問題はないかといった質問がありました。区からは、3つの候補の比較表が配られたビル概要やメトリック・データが説明されましたが、判断基準や評価内容が十分に記載されておらず、比較表としては読み取りにくい資料でした。また、最後に残ったもう一つの候補について、「2ベースの間から必要は確保が満たされない」という理由が挙げられたものの、実際に必要の面積を見ていないなど、根拠データの不十分さが指摘されました。耐震についても、「耐震補強済みであり、専門家が判断した上で問題ない」という説明がなされましたが、データを見ていないのでやや不安が残るものでした。  
以上を踏まえて、区は「区長が見る会の開催や公文書の適切な保存など、国で起こっている問題ともよまうことが千代田区で起こっている。」とお話されていたのが印象的でした。  
※「為書」とは、選挙の時に候補者の当選を願って「必勝」などと書いて貰うもの。

## 四番町Mビルを「四番町仮図書館」とした経緯

2018年(H30)  
■11月5日 地域(議員)より担当部長に当該物件(三番町Mビル)について電話がある。  
■11月8日 担当部長、Mビルについて企業担当者と面談  
■11月13日 区職員現地にて情報協議  
■12月21日 用地問題検討会(座長:副区長)で三番町Mビルと一番町Sビルの比較検討  
2019年(H31、R元)  
■7月1日 賃貸借契約締結(令和7年3月まで)5年9ヶ月、月額666万円(権利・敷金4.6億円、整備費14億円)  
■11月28日 (仮称)四番町公共施設整備を慎重に進めることを求める陳情  
2020年(R2)  
■1-3月 四番町図書館閉鎖  
■4月 四番町図書館に隣接するMビル、残りの9万冊は蔵書のうち3万冊はMビルへ、残りの6万冊は四番町図書館に残る。  
■4月1日 今後、いずれかの民間借手借りてそちらに移す予定と所管委員会に説明。  
■4月1日 仮図書館閉鎖予定

【解説】子育て中の保護者より移転先の仮図書館(築44年)について、いつ起きるかわからない地下型地震に対する安全性等、検証を求め陳情が議会に提出されましたが、区は「耐震補強による耐震性が担保できている」と説明し、予定どおり来年1月より移転を行う。